

NITS オンライン動画視聴後の「振り返りシート」 <校内研修シリーズ>

【No120:カリキュラム・マネジメント】

Step.1:解答

(1) 動画内での、カリキュラム・マネジメントについての説明をふまえ、□のなかの()に当てはまる語句を書きましょう。

○各学校において、各教科等の教育内容の組織化をはかり、(①教育課程)を編成し、資源の投入や協働を促すなど諸条件の効果的な活用を通して、(②学校教育目標)の実現をめざす営み。

○学習や生活の指導にあたる「教育」と組織運営に関わる「マネジメント」を結び、学校における(③教育の質)の向上をめざす営み。

(2) 動画内での、年間単元・題材表を作成する意義についての説明をふまえ、□のなかの< >に当てはまる語句を書きましょう。

<①現代的な課題>

- ・国際理解、情報、環境、福祉・健康
- ・環境教育 ・ESD ・情報教育 ・プログラミング教育 ・防災教育
- ・キャリア教育 ・食育など

<言語活動の充実－横串をさす－>

- ・国語科が、中心的役割を担いながら他教科等と連携して言語能力の向上を図る。
- ・国語科が育成する資質・能力が各教科等において育成する資質・能力の育成にも資する。

<②21世紀型の資質・能力の育成>

- ・一つの教科等をもって単独で迫れるものではない。
- ・教育課程を構成するすべての教科等が、それぞれの役割を果たす。
- ・連携と横断によって育てる。

(3) 次の□は、カリキュラム・マネジメントの三つの側面について示したものです。()に当てはまる語句を書きましょう。

- ① 学習の基盤となる資質・能力や、現代的な課題に対応できる資質・能力の育成に向けて、教科等や学年の枠組みを越えた(①横断的)な視点で学びを組み立てる。
- ② 全国学力・学習状況調査や体育・運動能力調査、アンケートなどの各種の調査結果等を活用して(②PDCA サイクル)を実施し、指導の効果の確認と改善を図る。
- ③ 教育内容と(③資源)を効果的に組み合わせる。

Step.2:解答例

- ・学力をめぐる課題の改善がめざすところであり、そのための方策としてカリキュラム・マネジメントがある。目的として学力をめぐる課題の改善があり、手段としてのカリキュラム・マネジメントがある。
- ・授業をめくり方法とともに組織の在り方を見直すにあたって、カリキュラム・マネジメントが提起する方策を、わが校の実態をふまえて引き出し、実践にうつす。
- ・カリキュラム・マネジメントの三つの側面については、すべて網羅的に取り組むというよりも、わが校の実態に応じて重点の置き方などの学校としての方針が大切になる。など。